

【施策⑥】観光誘客による公共交通の活用

【目的等】

地域の観光資源や大規模イベントと連携した企画乗車券や、MaaSによる観光施設と公共交通の連携、GTFS-JPデータの整備による来訪者が公共交通を利用しやすい環境の構築など、観光誘客と公共交通利用促進が一体となった取組を推進する。

1 取組概要

①観光客等の公共交通利用へのインセンティブ付与による観光誘客と公共交通の利用促進

地域の観光資源やイベントと連携した企画乗車券などにより、公共交通での来訪にインセンティブを与える取組を実施することで、観光誘客と公共交通利用促進に取り組む。

②GTFS-JPデータの整備によるシームレスな乗継情報の提供

観光客などの来訪者が、幹線交通・広域交通・生活圏交通を含めて各交通モード間のスムーズな乗換ができるように、各交通モードの運行管理者・事業者がGTFS-JPデータを整備して公共交通の経路検索事業者に提供する。

2 令和4年度の具体的な取組内容（※以下、【 】内は実施（予定）時期等）

後志地域公共交通活性化協議会としての取組

■観光誘客と公共交通利用が一体となった利用促進策について、先進的な取組事例などの情報共有を図りながら、具体の取組の検討を行う。

国

■企画乗車券に係る認可業務及び、MaaSやAIオンデマンド交通に対応した新モビリティサービス推進事業補助金について助言等を行う。【随時】

北海道

■バス利用に関するPR動画を作成し振興局のYouTubeチャンネルに投稿【4～3月】

■先進的な取組事例を情報収集し、協議会へ提供（効果的な取組の横展開を図る）

市町村

■地域の観光資源やイベントと連携した企画乗車券の企画などによる、公共交通での来訪にインセンティブを与える取組を検討し、観光誘客と公共交通利用促進に取り組む。

・観光協会等と協働で、乗車特典や観光ツアーパッケージを組み込んだ、季節臨時バスを運行

【7～8月：倶知安町】

・バス利用PR動画作成、SNS等での公開【5月～3月：小樽市】

・地域公共交通最適化検討実証運行事業の実施（周遊バス利用促進、町内消費拡大クーポン事業の実施）

【8～3月：ニセコ町】

・バス交通における運行状況の可視化、グーグルマップで運行状況をリアルに利用者へ提供（GPS車載器、乗降分析機器の設置（観光庁：広域周遊観光促進事業））【8月～3月：ニセコ町】

・町の観光資源であるワインやウイスキーとともに、観光名所とアイヌ関連施設を巡る観光タクシープランを作成（アイヌ政策推進交付金活用）【7月～3月：余市町】

■地域公共交通マップを作成し、観光客の利用促進及び観光施設への誘導を図る。【4～3月：岩内町】

■村内バスのGTFS-JPデータ（グーグルマップ）整備【9～3月：赤井川村】

交通事業者

■特急ニセコ号を運転（全運転日で余市駅や倶知安～ニセコ間の列車内で特産品販売、沿線地域の観光PRや、ご当地キャラクターによるお出迎え・お見送りを実施。）【9、11月】